

鳥取県商工会議所連合会

第 35 回中小企業景況調査結果報告書

中小企業景況調査概要

1. 鳥取県商工会議所連合会（鳥取、米子、倉吉、境港）は平成 16 年 7 月、第 35 回県内景況調査を実施、このほどその結果をまとめました。
2. 調査時点 平成 17 年 4～6 月期
3. 調査対象 県内中小企業 150 事業所
製造業 50 事業所、非製造業 100 事業所
鳥取・米子＝各 50 事業所、倉吉・境港＝各 25 事業所
4. 回収率 82 件（54.7%）
製造業 29 事業所・58.0%、非製造業 53 事業所・53.0%
5. 集 計 B S I 表示
X＝上昇・増加、Y＝不変・横バイ、Z＝減少・下降
 $B S I = 1 / 2 (X - Z)$ 但し $(X + Y + Z) = 100\%$

[前年同期比](平成16年4～6月比)

前年に比べて改善したのは、製造業が借入難度と売上単価の二項目、非製造業が売上高のみ。あとの項目はいずれも後退か横バイで、特に製造業の資金繰り(-13.7)、非製造業の売上単価(-20.2)、資金繰り(-16.3)、収益状況(-29.2)、業況判断(-25.9)などマイナス幅が大きいのが目立ちます。この結果、全体では売上高だけが(-4.9)と唯一改善したものの、残る五項目は全て後退となっており、景気回復の足取りは重いようです。

[来期見通し](平成17年7～9月期比)

改善を予想するのが製造業では売上単価と資金繰り、非製造業では売上高、収益状況、業況判断の三項目。この結果、全体で改善となったのは売上高、売上単価の二項目だけで、業況判断は(-16.0)と2ポイント弱の後退となりました。

[経営上の問題点]

当面の問題点は「同業者間による競争激化」「販売・受注単価の低下・上昇難」「消費・需要の停滞」が上位となり、大きな変化はみられません。次いで「新規参入の増加」「仕入れ価格の上昇」「請負単価の低下」など、収益に直結する競争激化が目立ちます。その他、鳥取の製造業で「原油高騰に伴う石油製品値上がり」を指摘する声がありました。

前年同期比 平成16年4～6月比

※()内前年同期の結果

()回収数	売上高	売上単価	資金繰り	借入難度	収益状況	業況判断	
全県(82)	-4.9 (-10.0)	-16.6 (-15.3)	-15.4 (-10.1)	-2.5 (-1.7)	-21.9 (-20.0)	-19.7 (-18.3)	
鳥取(20)	-5.0 (13.9)	-12.5 (-11.1)	-15.0 (-2.8)	0.0 (-5.5)	-20.0 (-5.5)	-20.0 (-2.7)	
米子(30)	-10.0 (-8.4)	-16.7 (-30.5)	-26.7 (-4.2)	-10.0 (-4.2)	-21.7 (-12.5)	-16.7 (-16.7)	
倉吉(15)	-13.3 (-13.7)	-26.7 (-18.2)	-13.3 (-11.4)	6.7 (2.3)	-36.7 (-25.0)	-28.6 (-20.5)	
境港(17)	-5.9 (-27.5)	-12.5 (-15.8)	-6.3 (-15.8)	0.0 (-3.0)	-11.8 (-27.5)	-17.7 (-30.0)	
製 造 業	全県(29)	1.7 (16.6)	-10.3 (-11.1)	-13.7 (2.8)	0.0 (-5.5)	-8.6 (-2.8)	-8.6 (2.7)
	鳥取(10)	10.0 (37.5)	-20.0 (-12.5)	-20.0 (6.2)	0.0 (-12.5)	-10.0 (6.2)	-10.0 (18.7)
	米子(10)	0.0 (30.0)	-5.0 (-10.0)	-15.0 (10.0)	0.0 (0.0)	-5.0 (30.0)	0.0 (20.0)
	倉吉(4)	-25.0 (-10.0)	-25.0 (-20.0)	-12.5 (0.0)	0.0 (-10.0)	-37.5 (-20.0)	-25.0 (-20.0)
	境港(5)	10.0 (10.0)	10.0 (0.0)	0.0 (0.0)	0.0 (-10.0)	10.0 (0.0)	-10.0 (0.0)
非 製 造 業	全県(53)	-8.5 (-21.4)	-20.2 (-17.0)	-16.3 (-15.8)	-3.9 (0.0)	-29.2 (-27.4)	-25.9 (-25.0)
	鳥取(10)	-20.0 (-5.0)	-5.0 (-10.0)	-10.0 (-10.0)	0.0 (0.0)	-30.0 (-15.0)	-30.0 (-20.0)
	米子(20)	-15.0 (-18.4)	-22.5 (-10.0)	-32.5 (-7.9)	-15.0 (-5.3)	-30.0 (-23.7)	-25.0 (-26.3)
	倉吉(11)	-9.1 (-14.8)	-27.3 (-17.7)	-13.7 (-14.7)	9.1 (0.0)	-36.4 (-26.5)	-30.0 (-20.6)
	境港(12)	-12.5 (-40.0)	-22.7 (-21.4)	-9.1 (-21.5)	0.0 (0.0)	-20.8 (-36.7)	-20.8 (-40.0)

来期見通し 平成17年7～9月見通し

※()内前年同期の結果

()回収数	売上高	売上単価	資金繰り	借入難度	収益状況	業況判断	
全県(82)	-5.5 (-10.8)	-9.8 (-11.0)	-11.4 (-9.0)	-3.7 (-3.4)	-12.2 (-12.5)	-16.0 (-14.1)	
鳥取(20)	-17.5 (13.9)	-15.0 (-2.7)	-12.5 (0.0)	-7.9 (0.0)	-20.0 (-2.7)	-25.0 (-2.7)	
米子(30)	-5.0 (-6.3)	-10.0 (-6.6)	-15.0 (-6.3)	-11.7 (-6.3)	-8.4 (-6.3)	-10.0 (-10.4)	
倉吉(15)	-10.0 (-20.5)	-20.0 (-16.0)	-11.6 (-16.7)	6.7 (-2.3)	-23.3 (-20.5)	-28.6 (-22.8)	
境港(17)	0.0 (-15.0)	-3.1 (-13.2)	-3.1 (-10.5)	6.7 (-8.8)	0.0 (-12.5)	-5.9 (-15.0)	
製 造 業	全県(29)	-3.4 (8.3)	-8.6 (-11.1)	-7.1 (-8.3)	-3.6 (-2.7)	-5.1 (2.8)	-12.0 (0.0)
	鳥取(10)	-5.0 (25.0)	-15.0 (-12.5)	0.0 (-12.5)	-5.0 (-6.2)	-10.0 (0.0)	-20.0 (0.0)
	米子(10)	-5.0 (0.0)	-15.0 (0.0)	-20.0 (0.0)	-10.0 (0.0)	-5.0 (0.0)	-10.0 (0.0)
	倉吉(4)	-25.0 (-20.0)	-12.5 (-20.0)	0.0 (-10.0)	0.0 (10.0)	-37.5 (-10.0)	-25.0 (-20.0)
	境港(5)	20.0 (10.0)	-10.0 (0.0)	0.0 (0.0)	10.0 (-10.0)	30.0 (23.3)	10.0 (20.0)
非 製 造 業	全県(53)	-6.6 (-15.4)	-10.5 (-10.9)	-23.5 (-9.4)	-3.9 (-3.8)	-16.0 (-19.0)	-18.2 (-20.2)
	鳥取(10)	-30.0 (5.0)	-15.0 (5.0)	-25.0 (10.0)	-5.0 (5.0)	-30.0 (-5.0)	-30.0 (-5.0)
	米子(20)	-5.0 (-7.9)	-7.5 (0.0)	-12.5 (-7.9)	-12.5 (-7.9)	-10.0 (-7.9)	-10.0 (-13.2)
	倉吉(11)	-4.6 (-20.6)	-22.7 (-14.7)	-15.0 (-19.3)	9.1 (-5.9)	-18.2 (-23.5)	-30.0 (-23.6)
	境港(12)	-8.3 (-23.4)	0.0 (-17.9)	-4.6 (-14.3)	5.0 (-8.4)	-12.5 (-23.3)	-12.5 (-26.7)

BSI=1/2(X-Z) X=上昇・増加 Y=不変・横バイ Z=減少・下降 但し(X+Y+Z)=100%